

公開シンポジウム

「食と健康・予防医療を考えるーミネラルと油脂栄養の重要性」の開催について

1. 主 催 日本学術会議農芸化学分科会、
日本土壌肥料学会 2008 年愛知大会運営委員会
2. 日 時 平成20年9月11日(木) 13:00-16:00
3. 場 所 名古屋市立大学川澄キャンパス中央診療棟3F 大ホール

開催主旨

国民の食育、食と健康に関する関心は益々高くなっており、食生活の重要性が強く認識されつつあります。一方、野菜摂取量不足等によるビタミン、ミネラル不足あるいは油脂・脂肪(リノール酸、トランス脂肪酸)の取りすぎ等による栄養摂取のアンバランスがガン、心疾患等の生活習慣病を助長しているとされています。上記テーマでの本シンポジウムが国民の健康増進、生活習慣病の予防等を通して、積極的に「食と健康」さらには「予防医療」に貢献することを期待します。

開会挨拶 木村 真人 (名古屋大学大学院生命農学研究科教授、日本学術会議連携会員、
日本学術会議農芸化学分科会幹事)

I 講 演 (13:10~15:30)

- 1) 奥山 治美 (名古屋市立大学薬学部名誉教授)
「人の健康に大切な油脂栄養と予防医療」(仮)
- 2) 徳留 信寛 (名古屋市立大学医学部教授)
「予防医療の重要性、健康維持に大切な紫蘇(しそ)油・野菜」
- 3) 加藤 俊博 (愛知県農業総合試験場)
「人を健康に、山間地を活性化するエゴマ生産」
- 4) 織田 久男 (エーザイ(株)生命科学研究所)
「畑に不足するミネラル・微量元素の効用」
- 5) 渡辺 和彦 (東京農業大学客員教授)
「微量元素管理の重要性・作物と人の健康」

II 総合討論とまとめ (15:30~16:00)

木村 真人 (名古屋大学大学院生命農学研究科教授、日本学術会議連携会員、
日本学術会議農芸化学分科会幹事)

閉会挨拶：三枝 正彰 (豊橋技術科学大学特任教授、日本学術会議連携会員、
日本学術会議農芸化学分科会委員)

参加費：無 料

参加受付：先着順 (定員300名)

問い合わせ先：E-mail : jspn2008@sda.nagoya-cu.ac.jp

名古屋市立大学芸術工学部 岡村 穰 Tel.052-721-3209(直通)

愛知県農業総合試験場 加藤 俊博 Tel.0561-62-0085(代表)